

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第116期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社赤阪鐵工所

【英訳名】 Akasaka Diesels Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 赤 阪 全 七

【本店の所在の場所】 東京都千代田区有楽町一丁目7番1号
(同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」
で行っております。)

【電話番号】 該当事項はありません。

【事務連絡者氏名】 該当事項はありません。

【最寄りの連絡場所】 静岡県焼津市柳新屋670番地の6

【電話番号】 054(685)6081

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員総務本部長 鈴 木 明 雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社赤阪鐵工所センタービル
(静岡県焼津市柳新屋670番地の6)

(注) 印は金融商品取引法の規定による縦覧に供する場所ではありませんが、投資者の縦覧の便宜のために備えて
おります。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第115期 第2四半期累計期間 | 第116期 第2四半期累計期間 | 第115期 |
|------------------------------|-------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日 | 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日 | 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日 |
| 売上高 | (百万円) | 5,765 | 5,540 | 10,975 |
| 経常利益 | (百万円) | 141 | 120 | 220 |
| 四半期(当期)純利益 | (百万円) | 75 | 65 | 142 |
| 持分法を適用した場合の投資利益 | (百万円) | | | |
| 資本金 | (百万円) | 1,510 | 1,510 | 1,510 |
| 発行済株式総数 | (千株) | 15,400 | 15,400 | 15,400 |
| 純資産額 | (百万円) | 7,979 | 8,279 | 8,210 |
| 総資産額 | (百万円) | 15,299 | 14,461 | 14,707 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 4.94 | 4.28 | 9.30 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | |
| 1株当たり配当額 | (円) | | | 2 |
| 自己資本比率 | (%) | 52.2 | 57.3 | 55.8 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | 783 | 282 | 1,407 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | 39 | 96 | 101 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (百万円) | 393 | 358 | 720 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (百万円) | 2,623 | 2,686 | 2,858 |

| 回次 | | 第115期 第2四半期会計期間 | 第116期 第2四半期会計期間 |
|---------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日 | 自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 5.34 | 0.34 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 当社は持分法の対象となる関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資利益については記載しておりません。
3. 売上高には消費税等は含まれておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復を背景とした、個人消費に改善の動きがみられましたが、国内においては消費増税や雇用状況に対する懸念、海外においては米国の量的金融緩和の縮小観測を契機にした新興国経済の減速感、また欧州経済の低迷、中東情勢を巡る影響など、実体経済の先行きに不透明な状況が続きました。

このような状況の中、海運・造船業界は円高是正が進み、内航船・外航船共に一部輸送量に回復の兆しがみられるものの、船腹の供給過多の状態を解消するまでは今しばらく時間がかかることから依然として厳しい状況にあります。

当社といたしましては、このような環境下、仕事量確保のための営業活動と製造工程でのコストダウンに努め、新造船用エンジンの売上はほぼ予定どおりでしたが、エンジン部品・修理工事の売上が当初の予定に届かなかった結果、当第2四半期累計期間は、売上高5,540百万円（前年同期比3.9%減）、経常利益120百万円（前年同期比14.4%減）、四半期純利益65百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ、1億72百万円減少し、当第2四半期累計期間末には26億86百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億82百万円（前年同期比63.9%減）となりました。これは主に減価償却費2億2百万円の計上、たな卸資産の減少額5億51百万円等の資金の増加と売上債権の増加額5億7百万円等の資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、96百万円（前年同期比146.0%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得87百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億58百万円（前年同期比9.0%減）となりました。これは主に借入金の純減少及び社債の償還による支出3億26百万円や配当金の支払額31百万円等の資金の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の金額は64百万円であります。

(5) 従業員数

当第2四半期累計期間において、従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい増減はありません。

(7) 主要な設備

当第2四半期累計期間において、主要な設備の著しい変動はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 32,000,000 |
| 計 | 32,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 15,400,000 | 15,400,000 | 東京証券取引所 市場第二部 | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 15,400,000 | 15,400,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成25年7月1日～ 平成25年9月30日 | | 15,400,000 | | 1,510,000 | | 926,345 |

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|---|---|---------------|------------------------------------|
| アカサカ共栄会 | 静岡県焼津市柳新屋670-6 | 1,938 | 12.58 |
| CBLDN DNB S/A FEARNLEY SECURITIES AS-CLIENTS (常任代理人 シティバンク銀行株式 会社) | CITIGROUP CENTRE CANADA SQUARE CANARY WHARF LONDON E14 5LB UK (東京都品川区東品川2-3-14) | 965 | 6.26 |
| 赤坂 忍 | 静岡県焼津市 | 735 | 4.77 |
| 株式会社静岡銀行 | 静岡県静岡市葵区呉服町1-10 | 643 | 4.17 |
| 株式会社みずほ銀行 | 東京都千代田区丸の内1-3-3 | 643 | 4.17 |
| 赤坂 全七 | 静岡県静岡市駿河区 | 487 | 3.16 |
| 三菱重工業株式会社 | 東京都港区港南2-16-5 | 412 | 2.67 |
| 東京アカサカ共栄会 | 静岡県焼津市柳新屋670-6 | 401 | 2.60 |
| 久門 喜久男 | 静岡県焼津市 | 254 | 1.65 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 東京都千代田区丸の内2-1-1 | 240 | 1.55 |
| 計 | | 6,722 | 43.65 |

(注) ユタールデン・エーエスから、平成19年3月23日付の大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、平成19年3月16日現在で998千株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況では考慮しておりません。
なお、ユタールデン・エーエスの大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

大量保有者 ユタールデン・エーエス(Uthalden AS)
住所 ノルウェー王国、オスロ0287、フーク・アヴェニー19
保有株式等の数 998,000株
株式等保有割合 6.48%

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 95,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 15,059,000 | 15,059 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 246,000 | | 1単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 15,400,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 15,059 | |

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社赤阪鐵工所 | 東京都千代田区 有楽町一丁目7番1号 | 95,000 | | 95,000 | 0.61 |
| 計 | | 95,000 | | 95,000 | 0.61 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,086,802 | 2,919,840 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,317,840 | 3,825,171 |
| 製品 | 300,000 | 333,338 |
| 仕掛品 | 2,531,183 | 1,968,215 |
| 原材料及び貯蔵品 | 444,867 | 423,369 |
| その他 | 147,406 | 139,190 |
| 貸倒引当金 | 1,331 | 765 |
| 流動資産合計 | 9,826,768 | 9,608,359 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,717,730 | 1,702,674 |
| その他(純額) | 1,651,738 | 1,560,774 |
| 有形固定資産合計 | 3,369,468 | 3,263,448 |
| 無形固定資産 | 23,245 | 20,360 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 1,510,350 | 1,591,200 |
| 貸倒引当金 | 22,621 | 22,119 |
| 投資その他の資産合計 | 1,487,728 | 1,569,081 |
| 固定資産合計 | 4,880,443 | 4,852,890 |
| 資産合計 | 14,707,211 | 14,461,249 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,334,038 | 2,377,215 |
| 短期借入金 | 962,320 | 781,192 |
| 未払法人税等 | 36,427 | 47,883 |
| 引当金 | 217,322 | 195,585 |
| その他 | 862,561 | 828,799 |
| 流動負債合計 | 4,412,669 | 4,230,675 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 248,000 | 212,000 |
| 長期借入金 | 1,222,760 | 1,119,478 |
| 退職給付引当金 | 107,475 | 96,637 |
| 役員退職慰労引当金 | 158,553 | 164,478 |
| その他 | 346,874 | 358,146 |
| 固定負債合計 | 2,083,663 | 1,950,740 |
| 負債合計 | 6,496,332 | 6,181,415 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,510,000 | 1,510,000 |
| 資本剰余金 | 926,345 | 926,345 |
| 利益剰余金 | 5,551,663 | 5,586,491 |
| 自己株式 | 30,442 | 30,507 |
| 株主資本合計 | 7,957,566 | 7,992,329 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 253,311 | 288,824 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 1,319 |
| 評価・換算差額等合計 | 253,311 | 287,504 |
| 純資産合計 | 8,210,878 | 8,279,834 |
| 負債純資産合計 | 14,707,211 | 14,461,249 |

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 5,765,682 | 5,540,130 |
| 売上原価 | 4,891,076 | 4,733,072 |
| 売上総利益 | 874,606 | 807,058 |
| 販売費及び一般管理費 | 750,940 | 727,460 |
| 営業利益 | 123,665 | 79,597 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 749 | 1,339 |
| 受取配当金 | 9,677 | 10,282 |
| スクラップ売却益 | 14,399 | 14,886 |
| 受取技術料 | 10,773 | 11,445 |
| 受取保険金 | 1,830 | 21,708 |
| その他 | 14,685 | 7,764 |
| 営業外収益合計 | 52,116 | 67,427 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 31,667 | 24,834 |
| その他 | 2,785 | 1,202 |
| 営業外費用合計 | 34,453 | 26,037 |
| 経常利益 | 141,328 | 120,988 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 1,080 | - |
| 特別利益合計 | 1,080 | - |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 16,828 | 14,028 |
| その他 | 3,080 | - |
| 特別損失合計 | 19,909 | 14,028 |
| 税引前四半期純利益 | 122,499 | 106,960 |
| 法人税等合計 | 46,905 | 41,521 |
| 四半期純利益 | 75,594 | 65,439 |

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 122,499 | 106,960 |
| 減価償却費 | 258,263 | 202,345 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 7,397 | 1,068 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 3,000 | 2,100 |
| 製品保証引当金の増減額(は減少) | 8,360 | 19,637 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 21,385 | 10,838 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 6,025 | 5,925 |
| 受取利息及び受取配当金 | 10,427 | 11,622 |
| 支払利息及び手形売却損 | 31,667 | 25,035 |
| 固定資産除売却損益(は益) | 3,080 | 105 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 1,080 | - |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 16,828 | 14,028 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 47,921 | 507,330 |
| 割引手形の増減額(は減少) | 100,060 | - |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 119,661 | 551,128 |
| その他の資産の増減額(は増加) | 28,558 | 27,259 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 119,017 | 43,176 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 55,484 | 31,905 |
| その他の負債の増減額(は減少) | 266,440 | 74,414 |
| 小計 | 800,716 | 326,338 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10,934 | 11,622 |
| 利息の支払額 | 25,659 | 26,168 |
| 法人税等の支払額又は還付額(は支払) | 2,168 | 29,348 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 783,823 | 282,444 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 359,500 | 65,500 |
| 定期預金の払戻による収入 | 354,000 | 60,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 36,500 | 87,955 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 95 | 1 |
| 資産除去債務の履行による支出 | 4,628 | - |
| 無形固定資産の取得による支出 | 2,471 | - |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,317 | 1,577 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 10,176 | - |
| 貸付けによる支出 | 4,108 | 8,262 |
| 貸付金の回収による収入 | 2,766 | 2,492 |
| 投資その他の資産の増減額(は増加) | 2,139 | 3,977 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 39,348 | 96,823 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 33,340 | 108,340 |
| 長期借入れによる収入 | - | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 270,676 | 276,070 |
| 社債の償還による支出 | 43,200 | 42,400 |
| 自己株式の純増減額(は増加) | 116 | 65 |
| 配当金の支払額 | 46,439 | 31,206 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 393,772 | 358,082 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 350,703 | 172,461 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,272,317 | 2,858,802 |

| | | |
|------------------|-----------|-----------|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,623,021 | 2,686,340 |
|------------------|-----------|-----------|

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

| 当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | |
|--|---|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合は、法定実効税率を使用しております。 |

(四半期貸借対照表関係)

四半期会計期間末日満期手形の会計処理について、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の事業年度末日満期手形が事業年度末残高に含まれております。

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|------|-----------------------|----------------------------|
| 受取手形 | 114,156千円 | |

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|------------|---|---|
| 給料手当 | 184,975千円 | 174,579千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 39,162 " | 33,655 " |
| 退職給付費用 | 17,483 " | 9,395 " |
| 役員退職引当金繰入額 | 6,175 " | 5,925 " |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 2,849,061千円 | 2,919,840千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 | 226,040 " | 233,500 " |
| 現金及び現金同等物 | 2,623,021千円 | 2,686,340千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 45,919 | 3 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 | 利益剰余金 |

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 30,610 | 2 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月28日 | 利益剰余金 |

(持分法損益等)

関連会社に関する事項

当社が有しているすべての関連会社は、損益及び利益剰余金その他の項目からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額(円) | 4.94 | 4.28 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 75,594 | 65,439 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 75,594 | 65,439 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 15,306 | 15,305 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

株式会社赤阪鐵工所

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山 内 佳 紀 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 服 部 信 義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社赤阪鐵工所の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第116期事業年度の第2四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社赤阪鐵工所の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。